おうちの方向け まるわかりブック

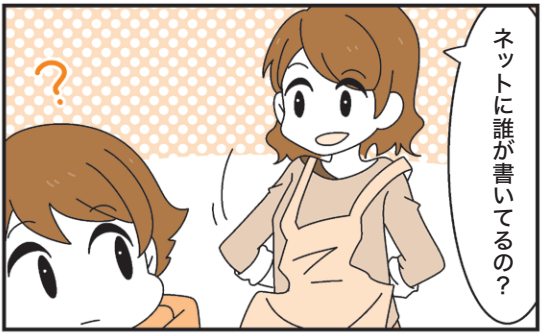
小学校・中学校・高校 どこでもどの教科でも いま「情報活用能力」が重要！！

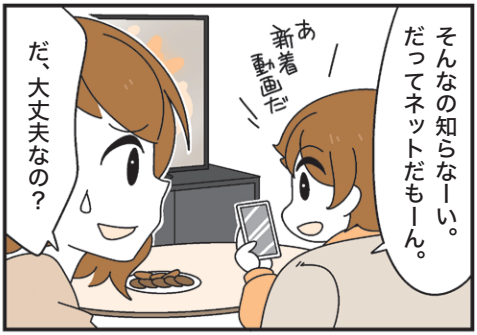
「○○町に、新しいビルが完成しました」

久美子（43）
陽菜と翔太（小５）の母

このビルの場所って、もともとはお墓だったんだって。

陽菜
公立中２年





Sample

いま、「情報」がアツい！

Q そもそも、「情報活用能力」って何？

A 「習得すべき力」に新たに加えられた資質・能力です。

2020年(小学校)・21年(中学校)から現行の学習指導要領に基づく授業が始まりました。現行学習指導要領では、小学校～高校で言語能力と同様に、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」としています。

文部科学省が示している「情報活用能力」を整理すると、次のようになります。

必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて――

① 情報を得ることができる
② 情報を整理・比較することができる
③ 得られた情報を分かりやすく発信・伝達できる
④ 得られた情報を必要に応じて保存・共有することができる

①～④に加え、「必要となる情報手段の基本的な操作の習得」「プログラミング的思考」「情報モラル」を含みます。

Q どうしていま「情報活用能力」にスポットがあたっているの？

A 社会が、特に「情報」の面において大きく変化しているからです。

インターネットの発達によって、必要な知識や情報は、いつでも、誰でも、どこででも、しかも最新のものを手に入れることが可能になりました。

一方でそれらの情報は、誰でも簡単に発信できることから、根拠のないものや、不確かなものも多く含まれています。情報の信ぴょう性を確認したり、他の情報と比較する中で判断すると言ったことが必要です。コンピュータをはじめとする情報機器を適切に使いこなすことも不可欠です。

こういった新しい社会の中で生きていくために「情報活用能力」が必要になったのです。小学校～高校で学習に使用するパソコンなどのデジタル端末を1人1台ずつ用意し、それに見合った高速通信回線も整備した「GIGAスクール構想」の実現もその一環です。

パソコンやタブレットを使った授業も当たり前になったものね。

小学校での取り組みを具体的に見てみましょう。

sample